

未来へ加速！

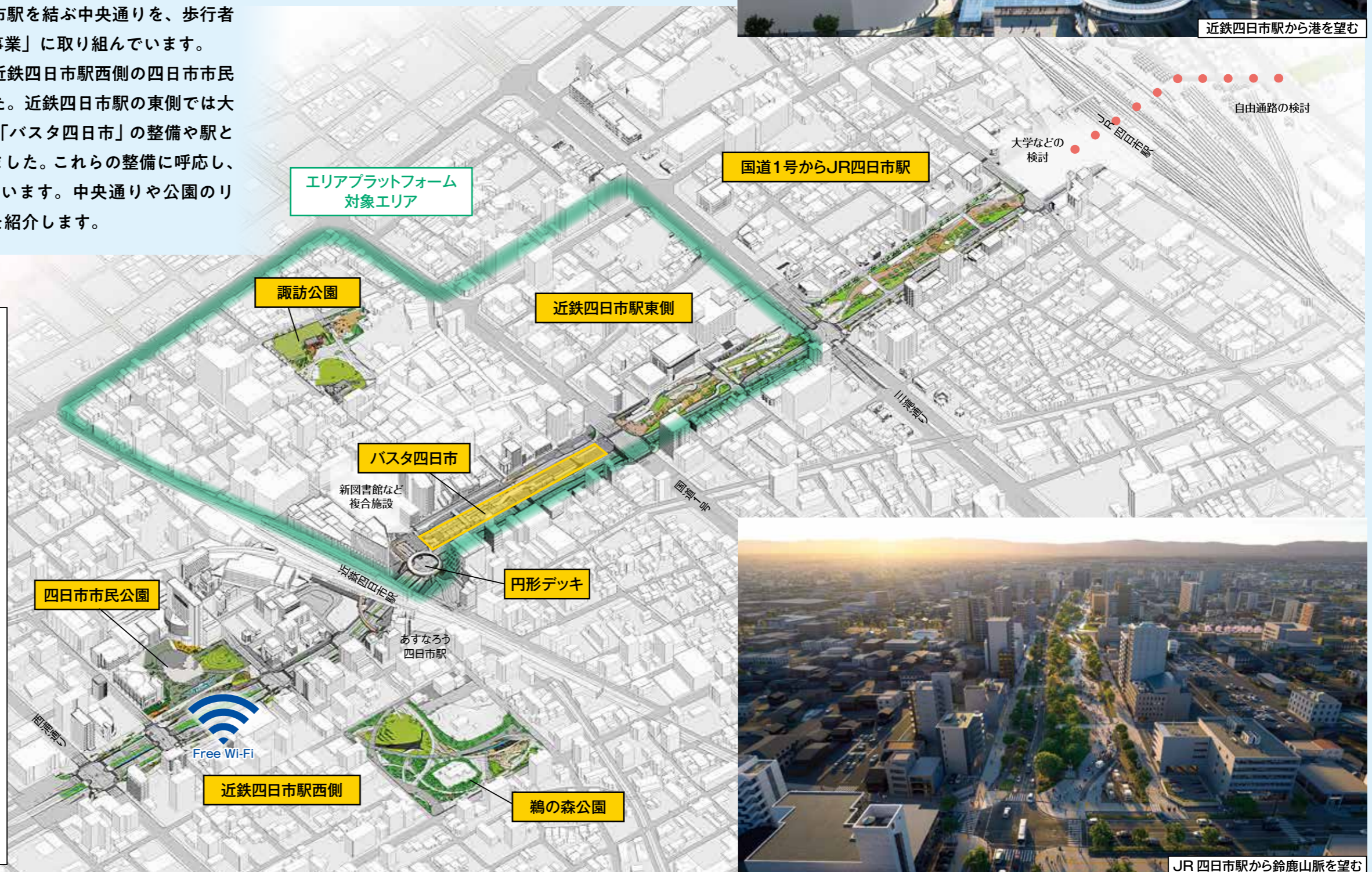
中心市街地 再編に向けて進行中！

本市では、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅を結ぶ中央通りを、歩行者中心の空間につくり変える「中央通り再編事業」に取り組んでいます。現在、事業区間全線で工事を進めており、近鉄四日市駅西側の四日市市民公園付近は、新たな姿に生まれ変わりました。近鉄四日市駅の東側では大規模に車道を切り替え、国直轄事業である「バスタ四日市」の整備や駅と新図書館を結ぶ円形デッキの整備も始まりました。これらの整備に呼応し、オフィスやホテルなど沿道の開発も進んでいます。中央通りや公園のリニューアルなど、生まれ変わる中心市街地を紹介します。

コンセプトは

ニワミチ よっかいち

居心地が良く歩きたくなる歩行空間(ミチ)にリニューアルするとともに、緑豊かなオープンスペース(ニワ)で過ごしたり、さまざまな活動をしたり、自然とその場所に人々が集い歩きたくなるような空間(ニワミチ)づくりを目指しています。



近鉄四日市駅から港を望む



JR四日市駅から鈴鹿山脈を望む

魅力あふれる新たな交流の場へ

令和6年3月
完成

近鉄四日市駅西側



西浦通りから市民公園東までの整備は令和6年3月に完了しました。人と自転車が安全に通行できる専用の自転車道、季節に彩りを添えるさまざまな植栽、ひと休みできるベンチ、ローカル5G対応のFree Wi-Fiを整備し、歩くだけ



スマートポール*

マストをイメージした照明の先端は、海の方角を見ると青色に、山の方角を見ると緑色に光ります。ベンチの足元や植栽にも照明を取り入れるなど、夜の景色が楽しめます。



海の方角を見た照明

※スマートポール…AIカメラ、環境センサ、Wi-Fiスポットを搭載した多機能ポール

近鉄四日市駅東側



バスタ四日市（国直轄事業）

「バスタ四日市」の完成により現在3カ所に分散しているバス乗り場が集約され、施設内には雨にぬれないバス待ちスペースや屋内待合所が整備されます。また、カフェをはじめとした賑わい施設の導入など、その管理運営には民間事業のノウハウが活用されることになっており、この3月に事業者が決定しました。

すでに工事には着手しており、中央通り再編と連携しながら、事業が進められます。

円形デッキ

近鉄四日市駅やあすなろう四日市駅、バスタ四日市、新図書館を結ぶ円形デッキの整備に着手しました。

円形デッキは市民の憩いの場所となる「まちを眺める上空のニワ」をテーマに、屋根と床の2つの円をずらした特徴的なデザインとなっています。

令和6年12月頃には、円形の橋桁が姿を現します。

令和7年12月
完成
予定



令和9年春頃
完成
予定



国道1号からJR四日市駅

国道1号からJR四日市駅の区間では、車道を南側に集約することで、クスノキ並木を含む北側の空間は、歩道を兼ねた公園になります。すでに南側歩道の工事は着手しています。

この公園の管理運営には、中央緑地や名古屋の久屋大通公園でカフェやレストランなどを導入したPark-PFI制度*を活用し、官民連携による賑わい創出を目指します。

*公園に、飲食店などの施設を設置して運営する民間事業者を公募により選定する制度

中心市街地周辺の公園

令和7年1月
完成
予定



四日市市民公園

令和6年3月からリニューアル工事がはじまりました。シンボルとなっている「七海のかげ橋」をコンセプトにした噴水は残し、伊勢湾を描いた舗装イメージを踏襲しながらも、イベントや緊急時の利用に配慮した公園に生まれ変わります。

公園全体で利用できるFree Wi-Fiを整備する予定です。

中央通り再編事業と関連した事業

鶉の森公園



令和8年度
完成
予定

諏訪公園



令和9年度
完成
予定

鶉の森公園と諏訪公園においても、リニューアルに向けた事業が進行中です。鶉の森公園では、既存樹木を守りつつ、ゆったりとした芝生広場や遊び場を整備し、のびのびと過ごせる憩いの場に、諏訪公園では、大日市まつりをはじめとしたイベント利用と日常利用の両立を一層重視した公園に、それぞれ生まれ変わります。

他にもあります！まちの進化

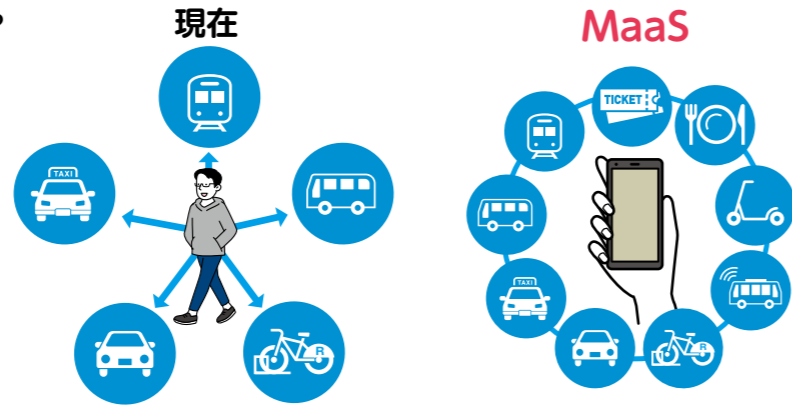
1

高度なシステムによる便利な暮らしの実現 四日市スマートシティ化

まちのさまざまな移動手段や
おでかけ情報を検索・予約
四日市版 MaaS※

鉄道やバス、自動運転などの
交通情報やまちのおでかけ情報
の検索・予約などができる「四
日市版 MaaS」システムの構築
を目指して、取り組みを進めて
います。

※ MaaS : Mobility as a Service



※イメージです

自動運転でまちを移動 まちなかモビリティ

まちなかの移動手段の充実を図るため、中央通り再編事業完了後の実装に向けて、自動運転の実証実験を進めています。



自動運転バス (ARMA)
ハンドル、アクセル・ブレーキペダルがなく、自動で動きます



自動運転小型モビリティ (PARTNER MOBILITY ONE)
見た目はベンチ、自動でゆっくり動きます

将来のまちを一足先にのぞき見

3D都市モデル

建築物や道路などを3次元で表現した3D都市モデルを整備しました。

その中で、中央通り再編後の姿を表現しましたので、ぜひご覧ください。

四日市市
3D都市モデル
公開サイトは
こちら



2

商店街×住民×企業×行政 官民一体でまちをにぎやかに 四日市エリアプラットフォーム

四日市エリアプラットフォームとは、まちなかを活性化させるため、商店街や地域住民を中心に、地元企業、行政、有識者が集まった組織です。まちの発展のために協議をし、歩いていて楽しくなる空間を実現していきます。

令和6年3月に策定した「未来ビジョン」※に基づいて、4つのエリア（駅前まちなか、諏訪公園、東海道SUWA、スワエリア）の特色に応じた公共空間利活用実験に取り組んでいます。

※「未来ビジョン」：日常的なにぎわいを生む公共空間の利活用を図る未来像



道路を公園のように使う「諏訪新道ブロックパーティ」



未利活用空地の活用を図り、民設民営の公園づくり
「SUWA MOBILE MARKET」

公式
Instagram



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は
市街地整備課 ☎354-8200 FAX354-8404
都市計画課 ☎354-8214 FAX354-8404
政策推進課 ☎354-8112 FAX354-3974